

# 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

## 概要

この資料は IBM Sametime で Cisco Unified 通信 ( UC ) 統合のためのセキュア コンピュータ テレフォニー インテグレーション ( CTI ) を解決するためにプロセスを説明したものです。

## 前提条件

### 要件

シスコでは、Cisco Unified Communications Manager に関する知識があることを推奨しています。

### 使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報は Cisco Unified Call Manager リリース 8.x に基づいています。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな ( デフォルト ) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

## トラブルシューティング

1. セキュリティ トークンをインストールされていた Cisco Call Manager で確認して下さい。
  - パラメータは Call Manager 管理者ページ > System > Enterprise Parameters > Security に行きます。
  - クラスタ セキュリティモードが "0" である場合、これは Certificate trust list ( CTL ) クライアントがセキュリティモードに設定されないし、インストールされていないことを示します。
  - クラスタ セキュリティモードはインストールされていた場合 "1" です。

2. ユーザを有効にしましたセキュリティ機能を確認して下さい。
  - -> 許可情報は Call Manager 管理者ページ > ユーザマネージメント > エンドユーザに行きます。
3. 「標準 CTI 信頼できる接続」を追加されますグループの権限を確認して下さい。
4. クライアント 認証局 プロキシ 機能 ( CAPF ) ファイルがきちんと作成され、名付けられることを確認して下さい。
  - Call Manager 管理者ページ > ユーザマネージメント > エンドユーザ CAPF プロファイルに行ってください。
  - ユーザ向けの CAPF ファイルを作成されます確認して下さい。
  - CAPF ファイル 例 ID のための形式は <num> が "0" から "4" まで整数である <Call マネージャ ユーザ ID ><num> である必要があります。
5. クライアント および サーバ 証明書ファイルが正常にダウンロードされたことを確認して下さい。
  - これらのファイルはで見つけられます:  
Windows XP: C:\Documents and Settings\ <username> \ローカル 設定\適用業務 データ\Cisco \ SametimePhone \認証\ ( Windows XP ) Windows 7: C:\Users\ <username> \ AppData \ローカル\Cisco \ SametimePhone \認証\ディレクトリ 名は <username><server> から開始し、含まれているはずです:  
少なくとも 1 つのサーバ ファイルクライアントファイルCTL ファイルユーザ「 johndoe」向けのサンプルファイル:  
CTLFile.tlv.sgnJtapiServerKeySote-johndoe-johndoe0JtapiClientKeyStore-johndoe-johndoe0
6. これらのフィールドがコンフィギュレーションユーティリティのセキュア CTI 接続セクションで正しく設定されるようにして下さい:
  - 「使用 信頼できる接続」フラグはチェックされます
  - TFTPサーバ ( 通常 Call Manager サーバ )
  - TFTP ポート ( 69 ) デフォルト
  - CAPF サーバ ( 通常 Call Manager サーバ )
  - CAPF ポート ( 3804 ) デフォルト
  - Sametime ユーザー設定 > Cisco > 電話コントロールに行き、「サーバ」フィールドをではないです編集可能確認して下さい。それはランタイムにセキュリティサーバを変更することができません。

管理者は読み取り専用ようにこのフィールドを設定できます編集可能ならセキュア CTI は有効になりません。

## 関連情報

- [IBM Sametime のための Cisco UC 統合](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)